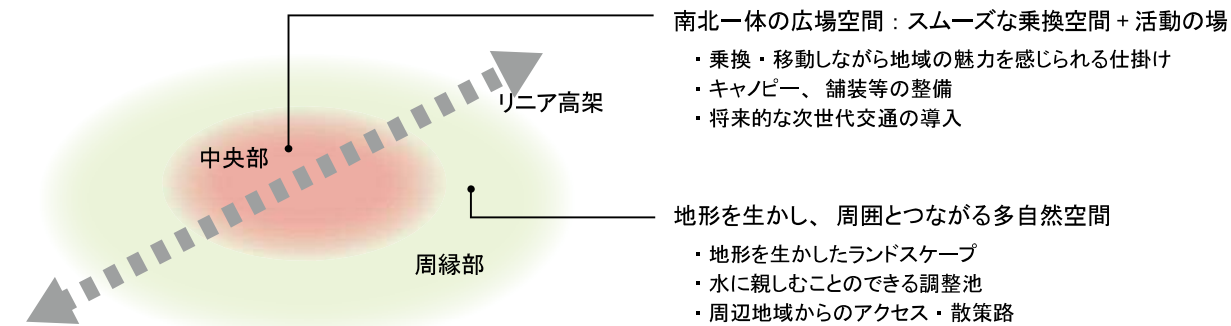


交通と広場の共存の考え方

「交通 / 乗換動線」と「広場 / 緑地」の共存の考え方

- 風景や文化を体感することのできる駅前広場とすることで、乗り換えるだけの人にも自然と飯田・伊那谷の魅力が伝わる空間を創出する。
→改札を出て目の前に交通広場を設けるのではなく、適度な距離をとることで、移動しながら、情報を得たり買い物や体験をしたりことを可能にする。
- 同時に、地域の人々が気軽に立ち寄れる日常的な活動の場となることを目指す。



高架下・広場空間を活用したアクティビティの創出

【考え方】

- 高架下・広場空間を一体的に活用し、地域の人々の**日常的な居場所**となる空間を創出する。(※機能・規模等は検討・協議を実施)
- イベント等の開催も想定し、飯田・伊那谷ならではの**味覚や文化、体験**を提供する。
- 乗換客に対しても、風景や文化を**体感**させることで、地域の魅力が自然と伝わる空間を創り出す。



▲駅前広場・高架下空間のイベント利用（地域の祭礼）【日向市駅前広場（宮崎県日向市）】



▲高架下の滞留【くらす広場（東京都稲城市）】 ▲コンコースでのマルシェ【旭川駅（北海道旭川市）】



人形劇
出典：飯田市川本喜八郎人形美術館HP



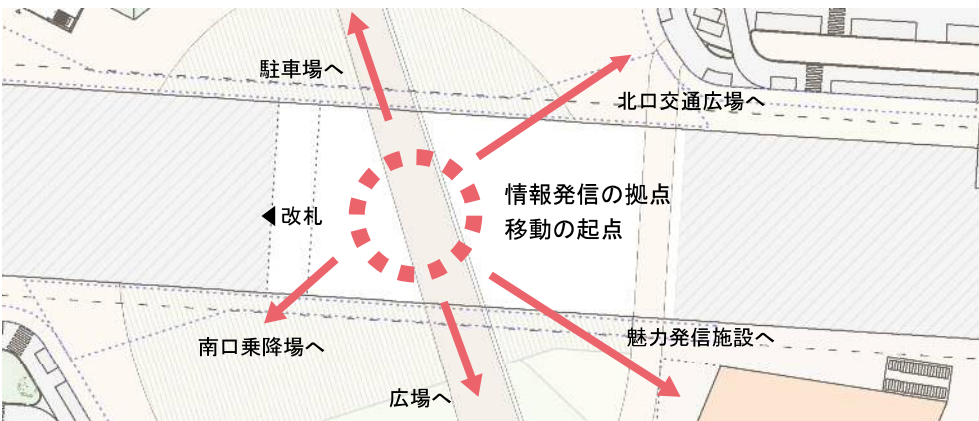
フードル
出典：広報いいだfacebook



氷引
出典：長野県観光機構HP

移動空間と広場空間の融合空間イメージ

高架下改札前空間の溜まり空間の創出・インフォメーションの設置



【考え方】

- 改札前に溜まり空間を設けて、駅前広場や飯田・伊那谷に関する**情報発信の拠点**とする。
- ここを**移動の起点**として、広場内の各施設への移動を喚起する。
- 北口交通広場への乗換動線上にも位置し、**移動しながら**様々な情報を得ることができ、**地域への関心**を創出する契機とする。

(※機能・規模等は検討・協議を実施)



▲駅前広場のインフォメーション・サイネージ【富山駅前広場（富山県富山市）】



▲高架下のインフォメーション施設（受付常駐）【新宿駅周辺（東京都新宿区）】

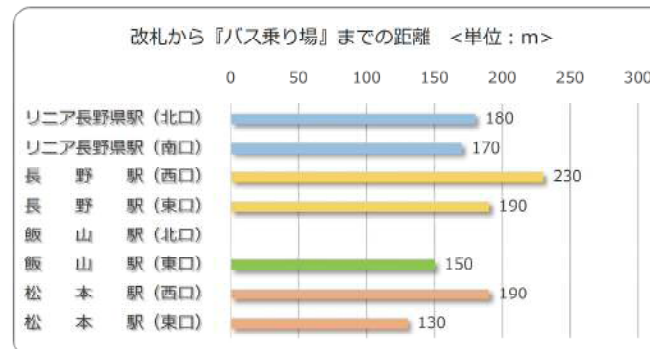
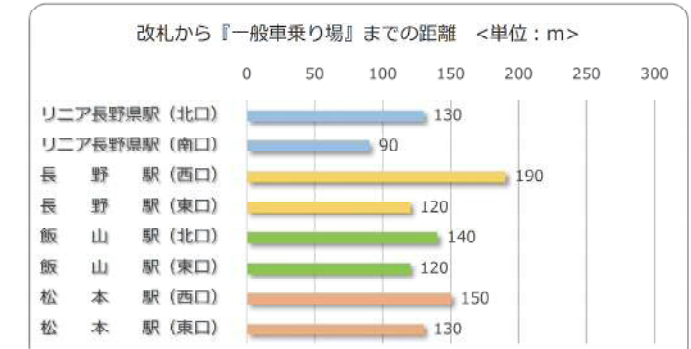
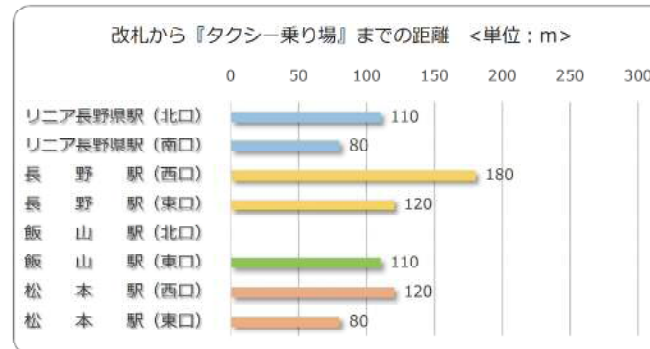


▲構造物を利用したサインの設置【敦賀駅前広場（福井県敦賀市）】

長野県内主要駅の二次交通乗換距離

二次交通の乗換距離について、リニア長野県駅と、北陸新幹線が停車する『長野駅』『飯山駅』、県内の主要な駅となる『松本駅』を比較した。

他駅との比較結果、基本設計案の移動距離については、他駅と同程度もしくは短くなる。



※タクシー・一般車は先頭車両までの距離、バスは最も遠い乗降場までの距離を示す。

ランドスケープデザインの空間イメージ

地形や水景のあるランドスケープのデザイン例



▲富士山本宮浅間大社 神田川ふれあい広場（静岡県富士宮市）



▲環水公園（富山県富山市）



▲神奈川県立津久井湖城山公園（神奈川県相模原市）

出典：神奈川県HP

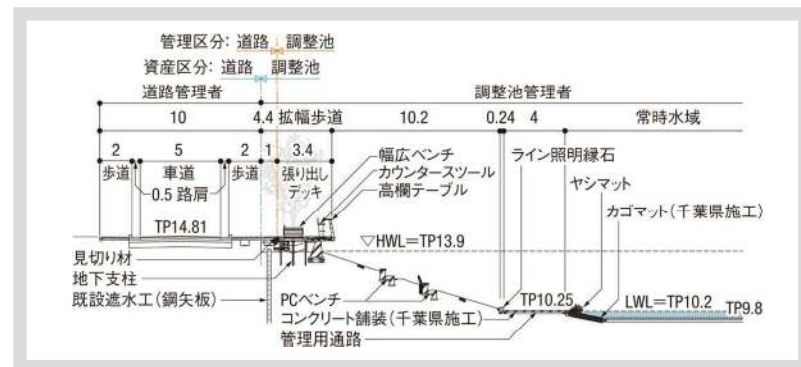


▲西郷山（東京都目黒区）

親水空間のある調整池の例



出典：itoHP



▲柏の葉アクアテラス（千葉県柏市）



▲こてはし調整池（千葉県千葉市）

出典：橋本電業社HP



▲長津川調整池（千葉県船橋市）

出典：みんなの船橋HP

新しいモビリティを活用した将来的な空間イメージ

自動運転化による人とモビリティの混在



出典：EASYMILE HP

▲小型自動バスの完全自動運転

パーソナルモビリティ・超小型モビリティの充実



出典：BBC NEWS HP



出典：RE・WORK HP



出典：Dijon Metropole Tourist Office HP



▲パーソナルモビリティ・超小型モビリティ

出典：Audi Media Center HP